

## 側溝暗渠化工事における施工性の向上、建設廃材発生防止に

KCフォーム・JSフォームはGRC（ガラス繊維補強セメント）の特長である、高い曲げ強度と剛性を活かした、側溝蓋を現場で打設する際の埋設型枠です。側溝の暗渠化の際、従来の型枠工事の手間が省け、施工が容易でトータルコストの大幅な低減が可能です。

## 建設廃材の削減・工期短縮 施工性アップ・コスト縮減

### ●特長

- 支持材・型枠等の建設廃材が発生しません。
- 型枠を組む時間がかからず、簡単に施工できます。
- 通水中でも施工が可能のため工期が短縮できます。
- 高い曲げ強度と剛性があるために、製品が軽く敷設が容易です。
- ダイヤモンドカッターによる現場加工が簡単です。
- 施工に熟練を要しません。
- ゼロアスベスト製品ですので、工事中も安心です。
- コンクリートとの付着がよく、鉄筋かぶりの一部として機能し側溝と一体化されます。

### □側溝の暗渠化のメリット

#### ○騒音解消

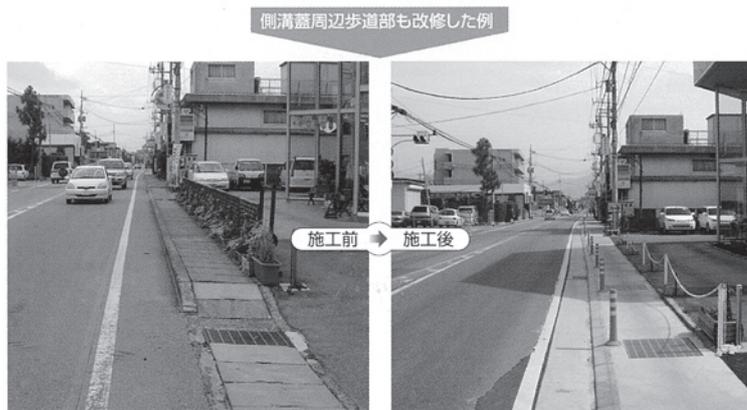
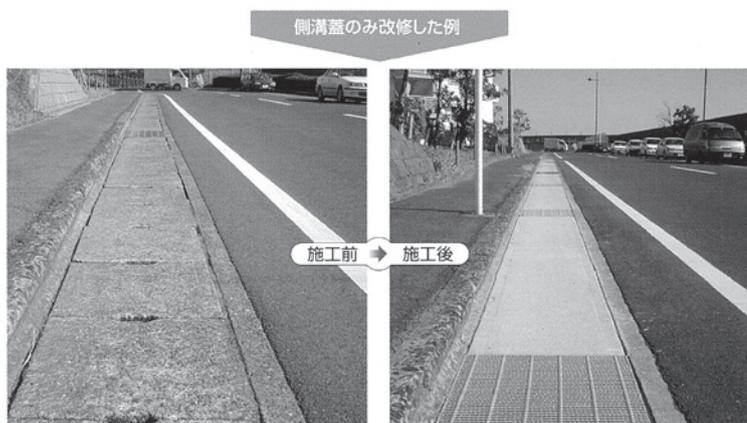
車両走行時の側溝蓋版のガタツキによる騒音を解消します。

#### ○経済性・環境対策

側溝そのものの入れ替えではありませんので経済的で産業廃棄物の発生も最小限です。

#### ○バリアフリー

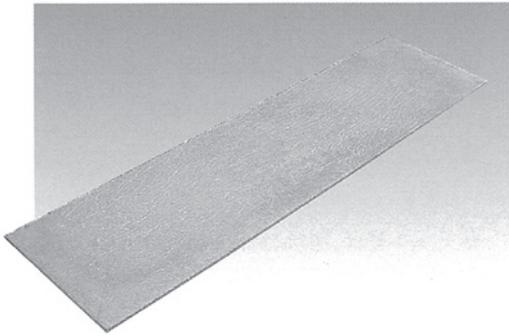
先進国の中でもっとも高齢化が進むと予測されている日本では、誰もが安心して快適に移動できる歩行空間が求められています。都市部の幅の狭い歩道に設置されている側溝は蓋の振動による騒音公害の原因であると同時に、歩行の際や自転車走行時の大きな障害となっています。側溝の暗渠化により歩道の有効幅員を拡張でき、また安全性の向上が可能です。



## KCフォーム

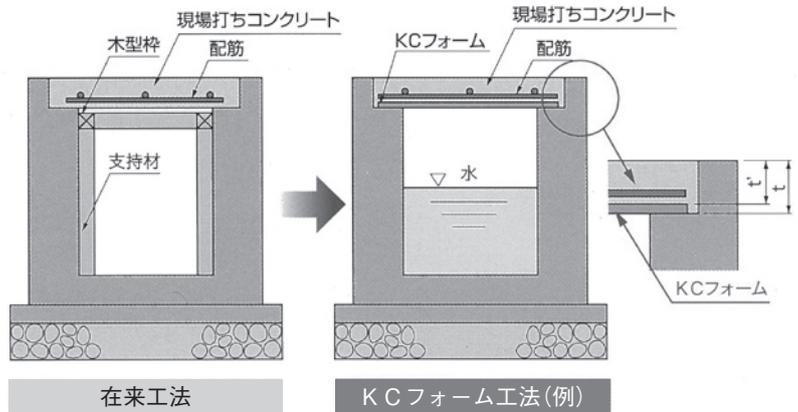
NETIS 登録番号 (QS-980217-V)

溝幅250mm~600mmの側溝に対応します。



※施工時は表面のざらついた面が上となるように敷設してください。製品に直接乗らないでください。

## KCフォームを置くだけで施工可能



建設技術審査証明により、KCフォームでは「t」までをコンクリート厚と見なしますが審査証明のない製品では「t」までしかコンクリート厚と見なされません。

呼称	W	t (※)	L	参考質量 (kg)	参考歩掛 (人/m)
250用	340	6	1,000	4.4	0.0026
300用	390	6	1,000	5.0	
350用	440	8	1,000	7.6	
400用	490	8	1,000	8.4	0.0035
450用	540	10	1,000	11.6	
500用	590	10	1,000	12.6	0.007
550用	640	13	1,000	17.8	
600用	690	13	1,000	19.2	0.014

側溝幅	250	300	350	400	450	500	550	600
蓋厚 100	6	6	8	8	10	10	13	13
110	6	6	8	8	10	10	13	13
120	6	6	8	8	10	10	13	13
130	6	6	8	8	10	10	13	13
140	6	8	8	10	10	13	13	13
150	6	8	8	10	10	13	13	13
160	6	8	8	10	10	13	13	
170	8	8	8	10	10	13	13	
180	8	8	8	10	13	13	13	
190	8	8	10	10	13	13		
200	8	8	10	10	13	13		

■ KCフォームの標準板厚

建設技術審査証明書交付商品  
本製品は、建設技術審査証明協議会会員である財団法人土木研究センターの「建設技術審査証明事業(土木系材料・製品・技術)」の技術審査を受け、建設技術審査証明書の交付を受けています。



建設技術審査証明事業  
(土木系材料・製品・技術)  
財団法人土木研究センター  
建技審証第0329号

※ t は標準板厚です。  
※ W は敷設時の両側掛りしろをそれぞれ45mmに設定しています。

